



森澄優己さん

間島竜一さん

川尻晃暉さん



### チームワークで勝ち取った 全国大会初V

近大豊岡高校ロボット同好会

- 間島竜一さん(17歳)
- 森澄優己さん(16歳)
- 川尻晃暉さん(15歳)

横浜市で開かれた「第5回宇宙エレベーターロボット競技大会全国大会」の中高生初級部門に出場し、見事優勝を成し遂げたのが、近畿大学附属豊岡高等学校ロボット同好会の間島竜一さん(2年)、森澄優己さん(2年)、川尻晃暉さん(1年)の3人です。

宇宙エレベーターとは、地上と宇宙エレベーターでつながる未来の輸送機関。この競技では、高さ4mの場所にある宇宙ステーションに見立てたかごに、ロボットがロープを伝って、ピンポン玉を運び

入れ、その入れた数と速さを競いました。

「ロボット設計には教科書はない」と話すリーダーの間島さん。一人でも作業が進むようにと、ロボットの基本部分をつなげて役割分担。夏休み前から製作し9月には試作品が完成しました。3人は「一番苦労したのは軽量化」「何度も議論し改良した」と話し、チームワークも抜群です。

今後、2年生の2人は抜け、来年は主体となる川尻さんは「来年は一つ上の部門で優勝したい」と意気込みます。

## Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲全身を使って大絶叫!

### かに王国開国式

### 寒さを吹き飛ばす大絶叫!

11月23日、JR城崎温泉駅前で、城崎の冬の風物詩「かに王国開国式」が開催されました。

恒例の絶叫大会では、参加者がカニの帽子をかぶってステージに上がり「カニさん、ありがとう」の決まり文句の後、「でも、私カニアレルギーなんです」「受験生なのに旅行しちゃいました」など、思い思いの言葉を絶叫。賞品の最高級「津居山かに」をめぐり、寒さを吹き飛ばす白熱の戦いを繰り広げました。

優勝したのは、107デシベルを記録し、2年ぶり2度目の栄冠を手にした広島市の塩形一男さん(53歳)。「城崎は、街並みや温泉はもちろん、人の温かさが大好きです。カニは帰ってから家族や友人と食べます」と満面の笑顔でした。

### 神鍋大根プロジェクト

### 今年も立派なダイコンが育ちました!

11月18日、日高町栗栖野のダイコン畑で、3回目となる神鍋大根プロジェクト(主催・西気明日のいしずえ会)が開催され、多くの観光客らがダイコンの収穫体験などを楽しみました。

このダイコンは、8月に地域の方や、きよたき認定こども園の園児らによって種まきされたもので、約5アールの畑には総太りと三太郎の2種類、約1,000本が立派に育ちました。1本100円で販売され、中には20本を購入した方もありました。

県中学校駅伝競走大会で訪れた伊藤奈緒子さん(淡路市)は「今年で2回目。直接畑から収穫できて、みずみずしくておいしい。駅伝の帰りの楽しみ」と夕飯のサラダ用に品定めをしていました。



▲黒い土を洗い流すと真っ白なダイコンが